(19)日本国特許庁(JP)　(12)特　許　公　報(B2)　(11)特許番号
特許第3599505号
(P3599505)
(45)発行日　平成16年12月8日(2004.12.8)　(24)登録日　平成16年9月24日(2004.9.24)

(51)Int.Cl.[7]	F I		
G07D 9/00	G07D	9/00	426C
G06F 17/60	G07D	9/00	436A
	G06F	17/60	236A
	G06F	17/60	248
	G06F	17/60	250

請求項の数 2　(全 7 頁)

(21)出願番号　特願平8-319165
(22)出願日　平成8年11月29日(1996.11.29)
(65)公開番号　特開平10-162201
(43)公開日　平成10年6月19日(1998.6.19)
審査請求日　平成13年3月9日(2001.3.9)

(73)特許権者　000005108
株式会社日立製作所
東京都千代田区丸の内一丁目６番６号
(73)特許権者　391002409
株式会社　日立システムアンドサービス
東京都港区港南二丁目１８番１号
(74)代理人　100075096
弁理士　作田　康夫
(74)代理人　100068504
弁理士　小川　勝男
(72)発明者　川合　功
愛知県名古屋市中区栄三丁目１０番２２号
日立中部ソフトウェア株式会社内

審査官　氏原　康宏

最終頁に続く

(54)【発明の名称】自動取引装置

(57)【特許請求の範囲】
【請求項１】
操作者の操作入力を受ける操作手段と、操作者へ操作入力のガイダンスを表示する表示手段と、通帳を取り扱う通帳取扱手段と、制御手段とを有する自動取引装置において、
前記制御手段は、
定期預金の解約取引が前記操作手段で選択されたとき、前記通帳取扱手段で取り扱う通帳に対応する定期預金のうち、解約を所望する定期預金を特定する第１情報の入力を、前記通帳取扱手段に通帳を挿入する前に要求する第１のガイダンスを前記表示手段で表示すると共に、
前記第１のガイダンスに基づいて前記操作手段で前記第１情報の入力を受けたとき、前記通帳の口座番号の入力された前記第１情報に対応した定期預金の内容を示して解約の確認入力を求める第２のガイダンスを前記表示手段で表示するよう制御することを特徴とする自動取引装置。
【請求項２】
操作者の操作入力を受ける操作手段と、操作者へ操作入力のガイダンスを表示する表示手段と、通帳を取り扱う通帳取扱手段と、制御手段とを有する自動取引装置において、
前記制御手段は、
定期預金の解約取引が前記操作手段で選択されたとき、前記通帳取扱手段で取り扱う通帳に対応する定期預金のうち、解約を所望する定期預金を特定する明細番号の入力を要求する定期明細番号指定画面を前記表示手段で表示した後に、前記定期明細番号指定画面で入

力された前記明細番号に対応した定期預金の内容を示して解約の確認入力を求める定期明細確認画面を前記表示手段に表示するよう制御することを特徴とする自動取引装置。

【発明の詳細な説明】

【０００１】

【発明の属する技術分野】

本発明は、銀行その他金融機関等において、磁気カードや通帳を用いて現金の入金や払い出し、振込、振り替え等の機能を有する自動取引装置に関する。

【０００２】

【従来の技術】

従来は、定期口座を解約したい場合、顧客が銀行等の窓口などに出向き、通帳、印鑑を窓口に提出し、解約したい旨の依頼票記入などの手続きを行う必要があり、時間、手間がかかり非常に不便であった。

【０００３】

また、窓口の営業時間も昼間の限られた時間しかなく、現金が必要なときに解約処理ができないなど不便な点が多い。

【０００４】

【発明が解決しようとする課題】

窓口にて一旦解約した定期口座の現金を、例えば他人の口座に振り込みたいとき、又は普通預金に一旦入れて起きたい場合、再度窓口に行って手続きを行う必要があり、その度に手続き用の依頼票を作成する必要がある。

【０００５】

また、当該通帳が、総合口座通帳等の多科目通帳であった場合、窓口では解約処理分の記帳のみの処理となり、例えば普通口座に未記帳データがあった場合、自動機コーナーで記帳のみのオペレーションをわざわざする必要があった。

【０００６】

自動機コーナにおいて、入金、出金等の通帳を使用した取引を行った場合、顧客は合わせて未記帳分の処理も期待しており、定期解約処理についても、普通預金口座への入金処理を行った場合など、記帳作業が引き続き発生する。

【０００７】

本発明の目的は、ますます利用度の高まってきた現金自動取引装置に対し、従来窓口でしか取り扱えなかった定期解約処理を窓口時間外においても実現することである。

【０００８】

本発明の他の目的は、付加価値をつけ、高機能化していく現金自動取引装置に対し、それと同時に一人当たりの処理時間を短縮し、顧客の満足度を上げることである。

【０００９】

更に他の目的は、カード使用による未記帳データの増加に対し、ホスト側での未記帳データの保持の負担を軽減し、顧客に対して記帳の機会をあたえることにある。

【００１０】

【課題を解決するための手段】

現金自動取引装置の取引選択画面に定期解約取引選択を設け、また、定期解約のための詳細番号選択画面と、解約実行前の内容照会および確認画面、解約終了案内と引き続き解約金の扱い処理を選択する画面、未記帳時に記帳処理を促すまたは実行する旨のガイダンス画面を設定し、回線によって接続されるホスト間で受け付け照会、ガイダンス表示等の問い合わせ応答処理を実行し、当該口座の削除、更新等を行う事で実現可能となる。

【００１１】

【発明の実施の形態】

以下、本発明の実施の形態を図１～図３により説明する。

【００１２】

まず、図１を用いて全体のシステム構成について説明する。現金自動取引装置１は、操作／表示部２と通帳印字／磁気ストライプリードライト部３と磁気カードリード／ライト部

４と伝票印字部５と入金／出金部６を制御する制御部７からなり、これと通信装置８と回線９で接続し、営業店端末８とホスト１０を回線１１で接続し、オンラインシステムの構成となっている。

【００１３】

次に、図２の取引画面例と図３のフローチャートで実施例を説明する。

【００１４】

図３の取引選択画面１８において、使用者は現金自動取引装置１の操作／表示部２に表示された図２の取引画面１２で、「定期ご解約」の取引を選択し、定期解約キー押下（図３のステップ１９）を実行する。それにより、図３の定期明細番号指定画面２０に移行する。この画面は図２の１３の画面である。表示された取引画面１３において、操作者は解約したい通帳の明細番号を確認し、明細番号入力１３を実行する（図３のステップ２１）。この時、解約取引自体を取り消したい場合、および入力間違いにより明細番号を入れ直したい場合、取消キー４１を押下し、取消処理を行う。入力された明細番号を確認後、間違いなければ、確認キー４２を押下する。

【００１５】

図３の通帳挿入２２において、ガイダンスに従い、当該通帳の定期科目頁を開き、通帳印字／磁気ストライプリードライト部３に挿入する。

【００１６】

バーコード／ＭＳリード２３にすすみ、挿入された通帳の頁バーコードおよび磁気ストライプデータの読み取り（リード）を行う。

【００１７】

カード挿入２４において、ガイダンスに従い、磁気カードリードライト部４に磁気カードを挿入し、磁気カードのデータのリードを行う。

【００１８】

暗証入力２５において、操作者はガイダンスに従い暗証番号入力を行う。リードした口座番号と入力された暗証番号とを含むデータは、図１における制御部７より回線９を通じて通信装置８に送られ、回線装置１１を通じてホスト１０に送られる。

【００１９】

センタ処理１である　２６において、ホスト１０は、送られてきたデータの妥当性チェックを行い、問題なければ当該口座番号の明細番号に相当する金額データの解約時の各種データを編集し、現金自動取引装置１宛にメッセージを送信する。

【００２０】

定期明細確認画面２７において、取引画面１４にホスト１０から送られたデータを表示し、操作者に確認を促し、問題なければ確認キー４３を押下する。解約処理を取りやめる場合には、取消キー４４を押下し、取消処理を行う。確認キー４３押下した場合、確認された旨のメッセージをホスト１０に送信する。

【００２１】

センタ処理２である　２８において、ホストは当該定期口座の解約処理を実行し、この事例の場合、普通口座への入金処理も合わせて行う。本処理が正常に終わった場合、解約の手続きが終了した旨のメッセージを編集し、現金自動取引装置１宛に送信する。

【００２２】

組合せ画面（ご案内）２９において、システム形態により、図２の取引画面１５、取引画面１６、取引画面１７を表示する。

【００２３】

取引画面１５で処理が正常に終了した旨のメッセージと、現在処理している科目とは別の普通口座科目に入金処理を行ったため、通帳を排出後あらためて通帳記入を促すメッセージを表示する。確認キー４５を押下することによりＡＴＭ内部処理３０に移行し、当該定期口座解約記帳処理等を行い、カード受け取り３１においてカード排出し、明細票・通帳受け取り３２において、明細票および通帳を排出する。

【００２４】

取引画面１６で当該通帳が総合口座通帳等の多科目通帳であった場合、かつ別の科目に未記帳データが存在する場合、科目表示エリアにホスト等から指示された科目データを表示し、通帳記入処理を促す。ここで通帳記入キー４６を押下すると、通帳排出３３に移行する。通帳排出後、当該科目頁挿入３４で、操作者が指示された通帳の科目頁を開き、通帳印字／磁気ストライプリードライト部３に挿入する。

【００２５】

取引画面１７で、処理が正常に終了した旨のメッセージと、現在処理している科目とは別の普通口座科目に入金処理を行ったため、通帳を排出せずに自動的に記帳処理を続行する旨のメッセージを表示する。現金自動取引装置１は、当該頁検出３５で、未記帳対象科目の頁まで自動的に頁めくり処理を行い、記帳対象頁を検出する。

【００２６】

センタ処理３　３６において、現金自動取引装置１から送信された記帳要求メッセージに対し、当該科目の記帳データを編集し、現金自動取引装置１宛に送信する。

【００２７】

終了画面３７において、記帳が正常に終了した旨のメッセージを表示し、ＡＴＭ内部処理３８に移行し、当該定期口座解約記帳処理等を行い、カード受け取り３９においてカード排出し、明細票・通帳受け取り４０において、明細票および通帳を排出する。

本願発明は、以下の特徴も有する。定期口座を有する使用者が該定期口座を解約したい場合に、該使用者の操作により、解約取引を実行でき、かつ該解約取引実行時、該使用者が本装置に通帳セットした場合、解約した履歴または明細を印字又は磁気情報にて記録を行うことができる現金自動取引装置において、該解約取引実行後、引き続き当該使用者に対し、解約した金の扱いについて出金、振り込み等の取引ガイドを表示装置に表示し、引き続き別の取引に誘導する機能を有する。さらに、解約取引で対象口座の通帳の定期明細番号を指定する場合に、取引に先立ち、対象となる明細番号の一覧を表示し、選択操作により取引を可能とする。また、さらに、有帳取引を実行した後、通帳の多科目に対し未記帳処理があるかを判断し、未記帳処理があると判断した場合は、当該使用者に対し、未記帳がある旨のメッセージを表示し、未記帳取引誘導を行う。また、さらに、有帳取引を実行した後、引き続き前記通帳の多科目に対し未記帳処理がある場合は、自動的に全ての未記帳処理を行う。

【００２８】

【発明の効果】

本発明によれば、従来窓口でしか行われなかった定期解約処理が窓口業務終了後もしくは土休日にも実現可能であること、解約後の記帳等の後処理についても、操作者に対しスムーズな操作環境をを提供、実現できること、それによって、操作者単位に見た解約処理にかかる時間を短時間に効率的に行う行えるようなったことが上げられる。

【図面の簡単な説明】

【図１】実施形態のシステム構成図

【図２】実施形態の取引画面例

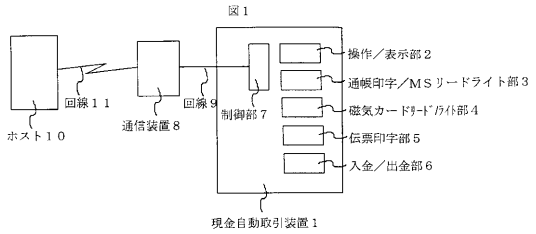
【図３】実施形態のフローチャート

【符号の説明】

１…現金自動取引装置　　２…操作／表示部　　３…通帳印字／ＭＳリードライト部
４…磁気カードリード／ライト部　　５…伝票印字部　　６…入金／出金部　　７…制御部
８…通信装置　　９…回線
１０…ホスト　　１１…回線　　１２…取引選択画面　１３…定期明細番号指定画面
１４…定期明細確認画面
１５…組合せ画面（誘導）１６…組合せ画面（選択）　１７…組合せ画面（自動）
１８…取引選択画面フローチャート
１９…定期解約キー押下ステップ　２０…定期明細番号指定画面ステップ
２１…明細番号入力ステップ　２２…通帳挿入ステップ

２３…バーコード／ＭＳリードステップ　２４…カード挿入ステップ
２５…暗証入力ステップ　２６…センタ処理１のステップ
２７…定期明細確認画面のステップ　２８…センタ処理２のステップ
２９…組合せ画面（ご案内）　３０…ＡＴＭ内部処理のステップ
３１…カード受け取りステップ　３２…明細票・通帳受け取りステップ
３３…通帳排出ステップ　３４…当該科目頁挿入ステップ
３５…当該頁検出ステップ　３６…センタ処理３のステップ
３７…終了画面のステップ　３８…ＡＴＭ内部処理のステップ
３９…カード受け取りステップ　４０…明細票・通帳受け取りのステップ
４１…取消キー　４２…確認キー　４３…確認キー　４４…取消キー　４５…確認キー
４６…通帳記入キー

【図１】

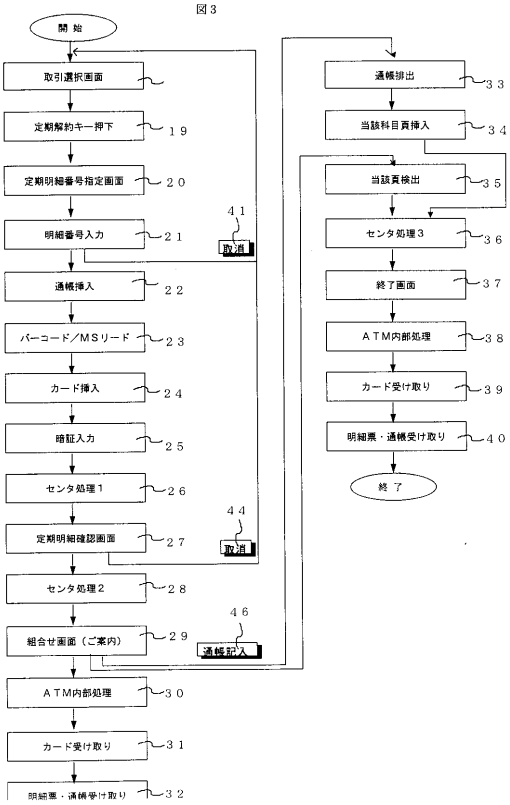


【図２】



【図３】

図3


開始
取引選択画面
定期解約キー押下
１９
定期明細番号指定画面
２０
明細番号入力
２１
４１
取消
通帳挿入
２２
バーコード／MSリード
２３
カード挿入
２４
暗証入力
２５
センタ処理１
２６
４４
定期明細確認画面
２７
取消
センタ処理２
２８
４６
組合せ画面（ご案内）
２９
通帳記入
ＡＴＭ内部処理
３０
カード受け取り
３１
明細票・通帳受け取り
３２
通帳排出
３３
当該科目頁挿入
３４
当該頁検出
３５
センタ処理３
３６
終了画面
３７
ＡＴＭ内部処理
３８
カード受け取り
３９
明細票・通帳受け取り
４０
終了

フロントページの続き

(56)参考文献 特開平０７－１２１７４９（ＪＰ，Ａ）
特開平０６－０５２２１１（ＪＰ，Ａ）
特開平０５－２３３６７０（ＪＰ，Ａ）
特開昭５５－１６４９７０（ＪＰ，Ａ）
特開昭５６－００７１７０（ＪＰ，Ａ）
特開昭６３－１２３１６２（ＪＰ，Ａ）
特開昭５６－０７２７６５（ＪＰ，Ａ）

(58)調査した分野(Int.Cl.[7]，ＤＢ名)
G07D 9/00
G06F 17/60